

東区まちづくりセミナー「じゅんさい池ってどこ？まちづくりってなに？」アンケート結果

日時:平成31年2月2日(土)午後1時半～午後4時

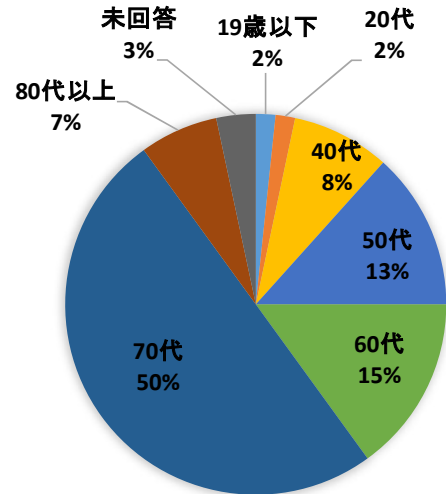
会場:東区プラザ ホール(東区役所2階)

参加者:98人 アンケート回答:60人

61.2% (回答率)

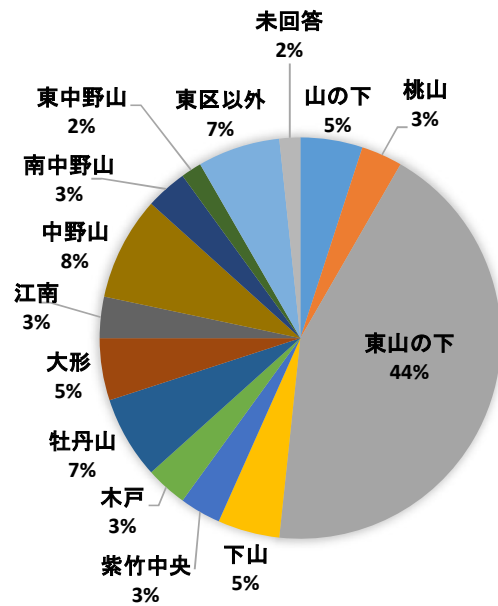
(1) あなたの年代を教えてください。

19歳以下	1
20代	1
30代	0
40代	5
50代	8
60代	9
70代	30
80代以上	4
未回答	2
計	60人



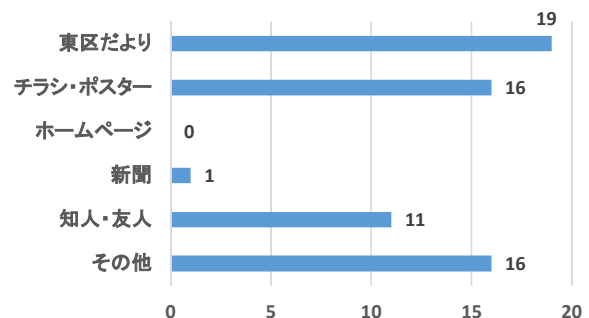
(2) お住いの地域を教えてください。

山の下	3
桃山	2
東山の下	26
下山	3
紫竹中央	2
木戸	2
牡丹山	4
大形	3
江南	2
中野山	5
南中野山	2
東中野山	1
東区以外	4
その他	0
未回答	1
計	60人



(3) 本日のセミナーを何で知りましたか？

東区だより	19
チラシ・ポスター	16
ホームページ	0
新聞	1
知人・友人	11
その他	16
計	63人



※複数回答あり

その他について

案内状
コミ協への案内
東区歴史浪漫プロジェクトより
Facebook
自治協議会
コミュニティ協議会
親
15日にじゅんさい池の周りを歩いていたら小魚等を捕っていた人に教えてもらった

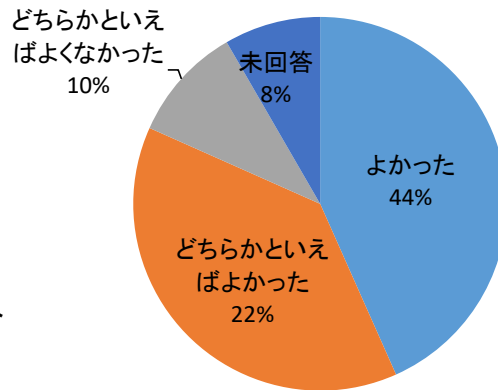
ポスター・チラシを見た場所

会議
コミュニティセンター等
回覧板
じゅんさい池の東屋
東山の下小学校
自治協議会

(4) セミナーの満足度

第1部 講演会

よかった	26
どちらかといえばよかった	23
どちらかといえばよくなかった	6
よくなかった	0
未回答	5
計	60人



主な感想

【事例紹介について】

事例の説明が良かった (6)
具体的なじゅんさい池の取組が出ていなく残念でした。(4)
具体的な事業の提案がほしかった。(2)
東区の実例が少なかった。中央区の実例も参考にしてほしい。東区には住宅団地も農村地域もあります。
事例に学ぶことの大切さ、東区にあてはまるのか？
事例に学び、実際に会費制の市民団体の発足につながらないのか。
三島や所沢の実例すばらしくこの地でも根付く活動が生まれて欲しい。市民への啓蒙の必要性を感じた。人と人とのかかわりの大切さ。子ども時代からの教育が大切！
トトロの森基金（アニメでよく知られている）のように、市民にもっと良さをアピールして守らなければという発想を拡げてゆかなくては・・・と思います。それには幼少期から利用できる場であればと思います。

【講演会全体について】

レベルが高く事例にしても取組には人員、経費等の問題がどうか不明確で理解しにくかった。先の話で現状とギャップがあるのでは？ ボランティア集めが問題
資料が多く読もうとするものですが、お話も聞きながらで忙しく聞かせていただきました。学生さんの意欲、発想は大変素晴らしいものでした。地域として大切に育てていきたいものです。

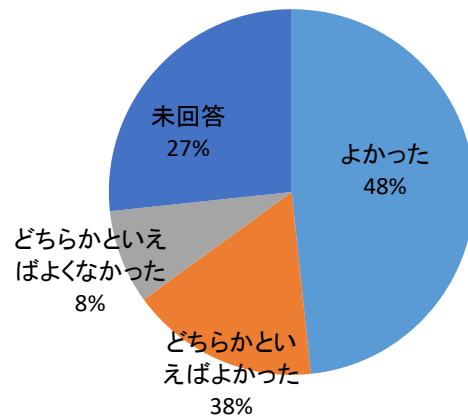
プロジェクターの画像がもう少し鮮明に映し出されると良かった（２）
 画面資料をもう少し整理して出してほしかった。（２）
 話は難しかったのでは。
 ピントがはずれている
 もう少し音量を上げてほしかった。
 じゅんさい池や通船川がまちづくりにどうつながるか関連が良くわからない。
 よその協議会の事例を話しており、パソコンの字が小さくて読めないので内容が理解できなかった。（要点をまとめた用紙を配布）

【講演を聞いた感想等】

大変に良いセミナーでした。これから2回～3回とお願いします。
 県立大学生の地域への取組・考えを知ることができた。（２）
 多世代をつなぐ活動や地域に根付く活動が大事であることが分かった。（２）
 身近にあるじゅんさい池を地域の多くの人々が宝と認識し、守っていくことが大切だと思った
 じゅんさい池、通船川も良いが、その中に東区全体のことも考え、を加えて、広げることが出来ないでしょうか。
 継続の難しさ、かな？
 東区でも生かせるものが見つかるようにしたい
 他区に比しバランスが取れている区と思っていたが、宣伝下手なのか地味な存在だったと思いました。
 あらためて、地域を考える事が出来た
 すべての組織が高齢化して、メンバーもほぼ同じ。いかに若年層や少年層を取り入れるか。消えいく自然（歴史）をどの様に守るか。
 他の地域の事例を綿密に調査されていると感じました。まちづくりに関し、学生や学校と連携するのは、発展、継続させる意味でも良い方策だと思います。
 子どもたちと一緒に参加できる町づくりが必要と感じました。
 環境問題に対する学校と地域の活動のあり方（連携）を考えさせられました。キーマン、パブリックマインドの高い人材の掘り起こし方（継続性、現役員の高齢化）
 「お宝をさがして、幅広い団体、人が集まって継続的に取り組む」ことが重要だと認識した。
 発想は良いがどの様にして行動を起こしていいか1人では分からないので、サークルを作った方が良いのでは。
 東区も広く、今回①「じゅんさい池」②「通船川」③「工場夜景ツアー」。特に①の活動・展示物等見ごたえあるものでした。生徒さんの「カルタ」からじゅんさい池自然が学びを発信しながら成果ある学習と感激しました。将来残せるもの・何かの1つと感じました。じゅんさい池の保護です。

第2部 意見交換会

よかった	29
どちらかといえばよかった	10
どちらかといえばよくなかった	5
よくなかった	0
未回答	16
計	60人



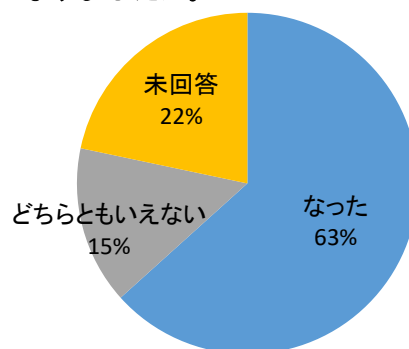
主な感想

世代環境などの違いの中での活動も個々ではなく交流することでいろんな広がりが出て興味もわいて来るのでは。
 各自の説明でまちづくりには協力者が必要と感じました。
 継承、つないでいくことが大切と認識した。

地域間の交流も大切であると思った。
砂丘地の歴史が少し分かり、東区の誇りに熱い想いを寄せる、学生さんや子どもたちの活動を聞かせていただいて「東区もすごい」ものがあると思いきや誇らしく思いました。こんな思いを大勢の区民の方々に持っていただければ嬉しいことですね。まちのよさをしっかりとらえている子どもたちのパワーがすごい！とてもうれしいです。
小学校の地域の事について教育熱心な取組が判った。いろんな形で自治会も応援したい。
子どもたちへ地域の自然環境、宝物…教育の配慮をして欲しい、伝えて行って欲しい。地域住民との教育、地域コミュニケーションを大切にしていきたい。
下山の歴史の発表が良かった。
下山郷土史は購入しましたが、とても素晴らしい編集でした。
普段町づくりに意識を向けてなかったので、考えるきっかけになりました。
時間の制約はどんな場面でもあるので、非定期的に問題・行動提起や検証が必要と思う。
新潟産やわ肌ねぎ。通船川、じゅんさい池他をふくめ、水の大切さ。これからも長く水がきれいである様に！
皆さん、問題意識が高く、驚きました！！
3人から、それぞれの立場、取組から参考になるよい話を聞いた。（2）
だんだん内容が深まった。
個々の意見は聞くもの（得るもの）があったが、あまりかみ合っていなかった。各々の意見の交換から、新しい気づきがあれば良かった。
宝と思えるかどうか少し難しい。話も少しピンと来ない点がある。もっと掘り下げる時間が必要と思う。
私が思っていたあるもの探しはもっと別のものと考えていた。
じゅんさい池の地域に住んでいる住民としてじゅんさい池を毎日見ている人とたまに来る人とのギャップが多いんだなあ～と思いました。今回の参加は違っていた。
①渡邊先生の生徒さんの成果②竹中さんの取り組み、県立大学生の力量③関根自治協議会のお話新潟TV関係に発表してもらいましょう。取り上げてもらいましょう！！地域への良い所をしっかりと伝えていきたい。

(5) ご自分が住む地域の魅力について考えるきっかけになりましたか。

なった	38
ならなかった	0
どちらともいえない	9
未回答	13
計	60人



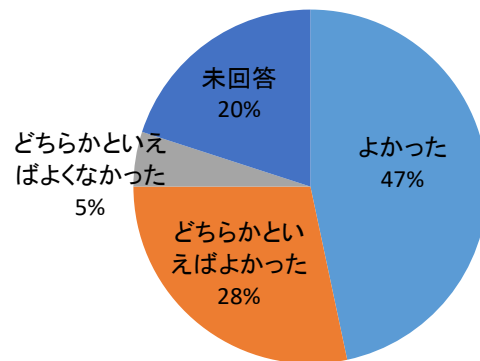
(6) 東区の魅力や宝は何だと思われませんか。

じゅんさい池 (8)
新潟空港 (7)
河川 (2)、通船川 (6)、阿賀野川、栗の木川
海・港 (2)
北国街道 (2)
湍足柵 (3)
工場夜景 (4)
市街地に工場があること (3)
産業観光 (2)
地域住民の暖かさ・人との出会い (4)
生活環境の良さ (3)

東区の歴史と成り立ちと現在をつなぐものの紹介と体験（２）
砂丘
広い公園（みなとランド、海浜公園）
池のある公園は気長です。池と花のある公園とした誰でも来れる公園にした方が・・・
発酵食品、酒、味噌、醤油、納豆…健康寿命延伸に大きなチャンスと捉え
ふるさとに愛着（ほこり・思い）を持って子どもたちが巣立ってほしいという山中教授のまとめになり、人づくりイコール町づくりだと思ふ。
亀田郷（農村）を母体とした地域の新規のまとめり。開拓の苦勞を育てた地域の和づくり。
豊かな田園風景と教育関係である所は、大変恵まれているけど、活用することが出来ないことが残念である様に思われます。
下山コミ協の取組が参考になりました
他区に比して一応全てが揃っているのではないかな？
江南区や中央区、北区の隣接する区に比べて、差別化できるもの…。難しいですね。でも、特に「自然が豊か」とは言えないのが現状だと思います。「産業と共存できる自然」…やっぱり難しい。
東区で生まれ育ったので、魅力について考えたことはなかった。工場地帯という環境がイヤだったが、近年では夜景工場見学などが実施されている。視点を変えることで魅力はうまれるものと思った。東区の魅力は交通のアクセスが便利（中心地、駅、空港に近い）なことだと思う。
基本的には、各地区の歴史的遺産、各所、誇るものをまず見つける。各地区の既存の団体・組織を集結し、ワークショップで取組の検討を行う。行政に対して提案する。
活力のある街が多い（県内の他都市に比べて）
まだまだ宝は少ないと感じます。これから皆で作っていく必要があると思います。
良さを認識すること。このように今回、まちづくりセミナーで発見したことも沢山ありました。

（７）本日のセミナーはいかがでしたか。

よかった	28
どちらかといえばよかった	17
どちらかといえばよくなかった	3
よくなかった	0
未回答	12
計	60人



本日のセミナーやじゅんさい池に関する事業についてのご意見・ご感想

【じゅんさい池について】

じゅんさい池に行きたいと思っても駐車場が狭く駐車場の整備が必要と感じます。春のしだれ桜は見事です！！
じゅんさい池は環境保全として残してほしい。
花のある公園に（四季に通じた！！）
花、野鳥の環境を良くする
じゅんさい池に花を植えると行政に頼んでいた方がいたが、まちづくりは市民活動の一環として行わないとまちに対する思いは育まれないと思う。「20年東区は何も変わらない」と市政に苦情を言っていたが、変わって欲しいなら自分で動き出せばいいと伝えたかった。
東区の名所として四季を通じて美しい自然公園へと、じゅんさい池を変化してほしいという意見がありました。できることとできないことがあると思います。無理なく、継続できる環境整備をのぞみます。
私はじゅんさい池の生物他は大好きですが、毎回の様に行くのはバードウォッチングが大好きで、野鳥を1年間見ているとバロメーターが良く分かります。※現在スズメが少なくなった気がしま

す。
じゅんさい池は昔にもどしていくのが必要だと思う。
スイレンを根ごと撤去しないと西池のじゅんさいもなくなる。(東池は全部なくなった！)
じゅんさい池から、さらに砂丘、川(阿賀野川、通船川など)、池などの自然につなげることも必要。
じゅんさい池整備は老齢のボランティアに頼るのではなく、行政が責任を持って行うものと思います。
工場地帯の中で自然が残る唯一の場所だと思う。しだれ桜やホタルなどで知られてはいるが、近くに住んでいても足を運ぶ機会があまりない。しだれ桜の頃に何かイベント的な事をやってみてはどうか。
住居が近いので、週1回程度西池に出かけていき散歩しています。気になるのは、他の散歩されている方などのエサやり行為です。現行での対策はなかなか難しいとは思いますが、何とかならないものかと思っています。
今後も自然環境の保護(保全)に努めて欲しい。砂丘湖の特殊性もあり、地域の宝物として子どもたちの育成、地域の交流の拠点として取り組んで欲しい。
じゅんさい池だけが東区の宝ではない。すべてが東区の宝、大切にしたいです。
じゅんさい池の位置付けが良くわからない。
「じゅんさい池をキーワードに」とチラシ(回覧)に書いてあるのに、町づくりが中心となった討論となった。自治協議会の主催とはいえ、行政(区長or担当)が出席しないのは何故か。結局会議が終わると何も得られていない。

【まちづくりについて】

「街づくり」伝えていくこと、協力していくこと、子どもの力、大学生の力、大人の力など合わせていく大切ですね。
市民に関心を持ってもらうことが第一。別に個々の課題をつなげる必要はない。ボランティア活動、参加型イベントへの参加の仕組みを考える。
歴史・伝承と同時に新たな歴史を創っていく当事者意識の教え
村上市の吉川さんでも呼んで、まちづくりについて講演してもらってはどうか。
早急な問題の発掘を行い遅滞なく進めながら、折を見ての意見交換に柔軟に対処出来る余裕も欲しい。交通体制をもっと整備して欲しい。(日常あまり乗っていない空港行き帰りのリムジンバスの通行など)
何かを始める時についつい「あーしてくれ、こうしてくれ」の依存意識が出てきてしまいがち。今ある宝を活かすことで富を生み出すところに意識を向ける教育も。
最後に「インスタ映え」についての竹中氏の意見も面白い。若者の発信の力を見つける。発信、市内、市外、国内、国外、外からみれる良さとてもいい考えですね。
地域の良さを子どもたちへ伝えていくことも大変ですね。うれしい事。大事。(知らないことが多すぎます。)
東山の下小の桜の植樹と地域への貢献に期待しています。
話し合いが必要だと思った。
この様な機会を多くもつことで関心を深め活動を広める事が大切と思う。
山中先生の「異なる意見を受け入れて伸びてゆく」、すばらしいお言葉です。今の社会に通じますね！近くの方々には親しみがありませんが、遠くの方々にはあまり関心のないじゅんさい池は、小鳥も多く飛来し、植物水辺の環境もすばらしいものです。多くの東区民に親しんでもらう工夫、環境保全にみんなで取り組まなければならないと思います。すばらしい資料たっぷり、じっくり、ゆっくり読ませていただきたい程でした。

【全体についての感想等】

論点が分かりにくかった
会場参加者とのやり取りは不要だったのではないか。時間ももったいなかった。
今回は講演、司会、コメンテーター等、教育関係、郷土史編集者等に偏っているので、行政関係のゲストも必要。